7　各部の名称とはたらき

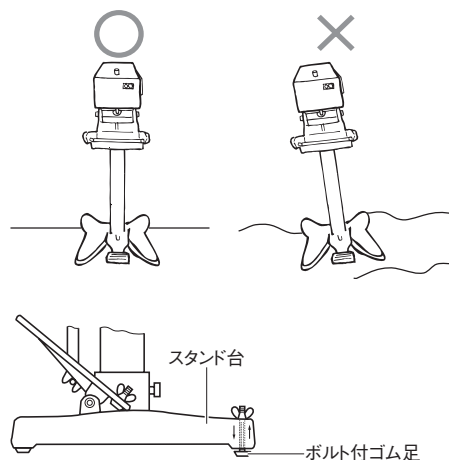
8　正しい使い方

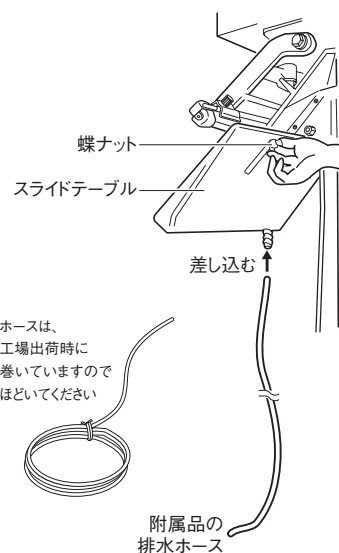
製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

8-1　本体の設置

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。
スタンド台に取り付けられているボルト付ゴム足の蝶ナット

⚠ 警告　水平な面を持たない床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。

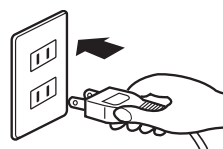
を緩めるとボルト付ゴム足の高さが調整できますので、多少の床面の高さの違いには対応できます。

8-2　スライドテーブルの調整

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。スライドテーブルの裏側の蝶ナットを緩めるとテーブルの位置が調整できます。袋のサイズに合わせて適切な位置で固定してください。

8-3　排水用ホースの取付

スライドテーブル下側に排水口がありますので、その先端に附属品の排水用のホースを取り付けてスライドテーブルにたまった水などをが流れ出るようにホースの排水口が床面に接地するように取り付けてください。

8-4　電源コードの接続

電源コードの差し込みプラグを「1　仕様」で掲載している電力値をとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

⚠ 警告　規定の容量に合わない場合、火災などが発生する危険性があります。

8-5　電源スイッチ ON

配電ボックス横の電源スイッチを押して ON 状態にするとタイマーの電源ランプが点灯します。

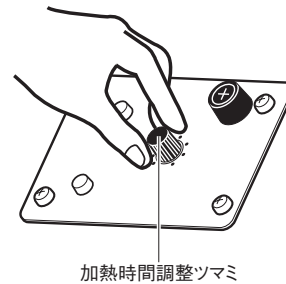
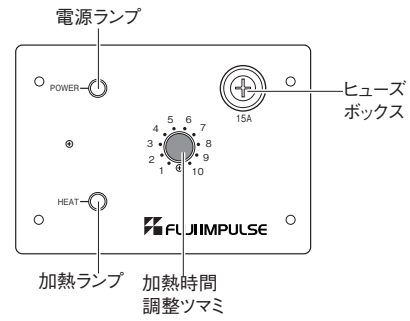
押すと ON になる

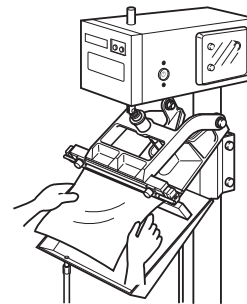
8-6　タイマーでシール条件の設定

タイマーで加熱時間を設定します。
タイマーカバーの下側を上に持ち上げるとツマミを触れるようになります。
袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値を変える必要性がありますので、異なる袋（フィルム）を使用される時はその都度設定してください。

● 加熱時間の設定

タイマー中央のツマミを回して設定します。
0.1 ～ 1.6 秒の範囲
Fi-WA-300-10WK のみ 0.1 ～ 2.0 秒
使用する包装フィルムの（袋）の材質により加熱時間は異なります。
シールができる最短の時間で設定してください。
作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

⚠ 警告　加熱目盛を大きくして『ペダルを踏む』で説明する冷却時間をとらないで連続使用すると、火災などの危険があります。

8-7　袋をシール部にセットする

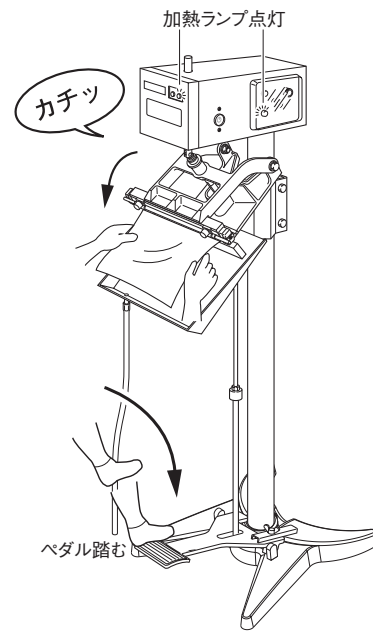
袋を両手で持ちシワがなくなるように両手でピンと張りながらシール部に手でセットします。

8-8　ペダルを踏む

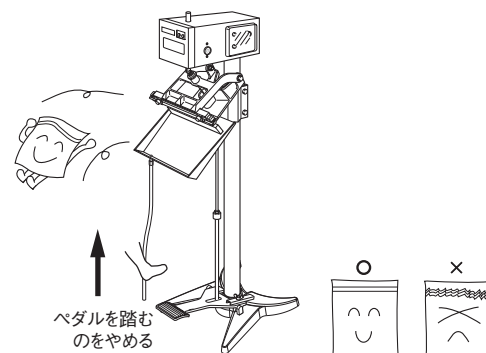
インパルス式のシーラーはフィルムに加熱後、フィルムを挟み込んだまま、フレーム、圧着レバーから放熱させて、フィルムを固める時間が必要です。
Fi-WA-300 シリーズでは、加熱ランプが消えた後に2～3秒間、ペダルを踏む力を緩めずに踏んだままの状態を保つことで、フィルムを冷却し、固めます。

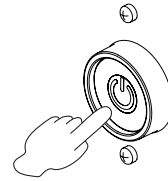
1　カチッとマイクロスイッチが入る音がするまでペダルを踏み込みます。加熱ランプが点灯し加熱が開始されます。

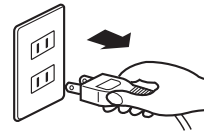
⚠ 警告　必要以上にペダルを踏み込むとマイクロスイッチ等の部品を損傷させる危険性がありますので、無理な力を加えて踏み込まないように注意してください。

2　加熱時間が経過すると加熱ランプが消えます。
3　加熱ランプが消えてから2～3秒はペダルを踏み込んだままにして冷却時間をとってください。

⚠ 注意　充分な冷却時間をとらないと、シール状態が悪くなり、部品の消耗を早めます。特に密封性を高くするときは充分な冷却時間をとってください。

8-9　シールのできあがり

加熱･冷却終了後、ペダルを踏むのをやめ、圧着レバーを上げれば、シール完了です。
うまくシールができていない場合は再度、加熱時間設定をやり直したり、ペダルを踏み込む力の強弱を変えたりしてください。
何度かテストを行い、設定をより良い状態に仕上げてから使用をお続けください。

8-10　電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF にしてください。

押すと OFF になる

長時間使用されない時は電源プラグもコンセントから抜いてください。

8-11　作業終了後の点検

作業が終了したら、各部の清掃を行い、フローガラスシートやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。傷んでいるようであれば、交換を行ってください。特に水物、塩分のあるものの包装に使用した後は充分に清掃を行ってください。